



イガイ試食に 長蛇の列



8月24日、鶴岡協同の家 こぴあ（鶴岡市）、コープ桜田店、しろにし店（山形市）の県内3会場で、イガイの試食キャンペーンを行いました。県漁協女性部が庄内浜で水揚げされたイガイの味噌汁を振る舞い、多くの買い物客や家族連れでにぎわいました。

訪れた人の中には「イガイを食べるのは初めて」という声もあり、「想像以上にうまみが濃い」「山形でこんなにおいしい貝がとれるとは知らなかった」と驚きの感想が寄せられ、地域の水産資源を知ってもらう良い機会となりました。



日本海ブロック漁業士研修会を本県で開催!!



8月25日、ホテルリッチ&ガーデン酒田において青森県から山口県の漁業士会から33名、本県から漁業士14名、山形県漁業協同組合や行政関係者16名が参加して、「令和7年度日本海ブロック漁業士研修会」を開催しました。

山形県漁業協同組合の折口総務部担当部長からは「漁協の経営構造改革について」と題し御講演をいただきました。漁業や漁協経営は他府県でも厳しいようで、経費削減に対する質問がありました。

また、研修会の中では、水産庁への意見・要望についても協議が行われ、本県からは漁船リース事業の補助率アップ、新リース事業における、漁具等の複数回利用、燃油高騰対策について提案し、他府県からは、クロマグロ漁獲枠分配方法の再検討、TAC管理が行われる魚種に対する「積立ぶらす」の拡充、漁業士活動支援などが提案されました。提案内容については事務局で取りまとめ、来年3月に水産庁で開催予定の会議において提案する予定です。

26日は山形県、新潟県、石川県、鳥取県の漁業士約20名が善宝寺で御祈禱を受けました。初めて善宝寺で祈禱を受ける漁業者も多く、「ダイナミックな御祈禱が大変良かった」「御利益がありそう！明日から毎日大漁かもしれん！」との声も上がり大好評でした。

令和9年度には「東北北海道ブロック漁業士研修会」を本県で開催する予定となっておりますが、今回以上に充実した研修会になるよう運営しますので、関係者の皆様には御協力のほどよろしくお願ひします。

庄内総合支庁水産振興課 工藤 創



9月1日、各浜では底曳き網漁業で水揚げされた魚が並び、活気を見せました。

今年は海水温が例年より2～3度高い状況が続いているため、水揚げ量はやや控えめでしたが、「スルメイカが初めて入った」と話す船もありました。例年には見られない動きに、今後の好漁を期待する声があがっています。皆様の安全操業を願いますとともに豊漁に期待しています。



さかた総合市場



由良総括支所



念珠関総括支所

新

人

紹

介



由良総括支所
菅原 由二

8月1日付で由良支所に配属となりました菅原由二と申します。

以前から漁業には興味があり、数年前になりますが、漁業就業について話を聞きたいと思い、漁協を訪れたこともありました。

従事して数日経ちましたが、まずセリの掛け声やスピード感に圧巻されました。

市場の仕事は、瞬時に割り算で魚の重量を算出する等スピードや正確性を必要とする上、コミュニケーション力も大切であり、課題は山積みです。まだまだですが、諸先輩方のご指導の下精進していきたいと思っています。

家の話をしますと、以前は鶴岡の市街地に住んでいたのですが、1年前に小波渡地区に引っ越してきたため、通勤が大変便利です。また、我が家には年老いた猫がいます。2人暮らしで、名前は雪乃と申します。スケバン刑事の登場人物より名付けました。

今後の山形県漁業協同組合の発展を少しでも支えられるように貢献したいと思っていますので、今後ともご指導の程よろしくお願いいたします。



製氷工場
本間 友奈

このたび、8月より製氷工場に配属になりました本間友奈です。

海が好きで、海の雰囲気や、あの広さ、波の音を聞いたり、なんとなく落ち着く感じがして、昔から好きでした。

製氷の仕事に関わるのは初めてで、日々新しいことの連続ですがひとつひとつずつ覚えていけたらと思っています。

まだ慣れないことも多く、ご迷惑をおかけすることもあるかもしれませんが、「明るく、素直に、前向きに」を心がけて頑張りますので、温かく見守っていただけると嬉しいです。

これからどうぞよろしくお願いたします。



がんばっています



令和7年6月より、新たに2名が仲間になりました。

由良水産加工場に来て早2カ月が過ぎました。地域の環境、加工場の作業に少しずつ慣れてきて、今では現場の母ちゃん方に負けじとバリバリ作業に勤しんでいます。

二人とも出身はベトナムで、好きな食べ物はメロン・スイカといった果物、休日は映画を見て過ごしているそうです。

当面の目標は魚の三枚おろしをきれいに出来るようになること！

これからどうぞよろしくお願いたします！

由良水産加工場 菅原 和行

←左・チャン・テイ・ヒエンさん 右・グエン・テイ・フォンさん



人事発令のお知らせ

◆新規採用(発令日:令和7年8月1日付)

菅原 由二 由良総括支所 配属
本間 友奈 製氷工場 配属

◆退職(令和7年8月31日付[]は旧所属)

倉田 公平 自己都合
[由良水産加工場長代理]



JF共済からのお知らせ

早めの備えで暮らしに安心を

いつも漁協の共済事業にご理解、ご協力いただきありがとうございます。

今回はJFが提供する建物への補償、生活総合共済（くらし）についてご案内いたします。

近年、日本全国では豪雨による水害を始め、多くの自然災害が発生し私たちの暮らしに大きなダメージを与えています。

昨年7月には山形県内でも豪雨による水害が発生しました。

この豪雨は県内全域に被害をもたらし、遊佐町・酒田市・鶴岡市の3地域で全壊13件、半壊350件。その他小被害などを含めると3地域の被害合計は1089件*と多くの方の生活に被害を与えました。

※参考：山形県公式サイト

あなたの身近な防災情報 こちら防災山形！ より

そのような災害が記憶に新しい中、本年も秋田・新潟隣県含め日本全国で多くの自然災害が発生しており、災害への備えは急務となっています。

我々JF共済では「浜のあんしんサポート運動」を通じて皆様のご契約（JF加入・他社加入含み）の補償点検活動を行い、必要補償の提案を行っています。

この機会に再度、建物・家財の補償を見直し、自然災害への備えを万全な状態にしましょう。

JFの生活総合共済「くらし」は火災による損害ほか、風害・水害・地震といった自然災害を補償する総合共済です。

以下に、生活総合共済「くらし」の補償概要（2017年7月1日以降加入のご契約）を記載しますのでご確認ください。

風・ひょう・雪災による損害を補償

※3万円以上の損害でお支払！



例えば… 雪災による雨樋の破損、
強風による屋根外壁の破損、
ひょうによる屋根カーポートの破損 など

水害による支払共済金を拡充

※損害割合30%以上または、床上浸水の場合、損害額の全額をお支払！



※付保割合（加入割合）が①住宅で60%、②一般物件（倉庫等）で80%以上であること
※加入共済金額を上限として損害の額をお支払します。

地震による損害支払共済金を拡充



全損時	加入共済金額に	30%
大半損時	対して右の割合で	20%
小半損時	お支払！	10%
一部損時		3%

内容の詳細やお見積のご依頼については
**山形県漁業協同組合本所・各支所
またはJF共水連東北事業本部
山形支店まで**

令和7年度 飛島勝浦地区訪問活動 実施

令和7年8月23日(土)、飛島勝浦地区の漁家世帯全戸訪問活動を実施しました。

飛島地区は令和5年4月末をもって支所職員の常駐が廃止になり、以降組合員の皆様への恒常的な訪問・推進活動が実施できていませんでした。

そこで、直接お話を伺い、世帯台帳を最新の状態に更新するとともに、保障内容を見直す機会が必要であると考え、昨年より訪問させていただいております。

当日は天気も良く大変暑い中ではありましたが、予定していた勝浦地区の漁家世帯を全て訪問することができました。お話を伺う中で、皆様が漁協本所へお越しいただいているように、私たちもまた皆様のもとへ足を運ぶことが大切だと改めて認識しました。

今回は、スケジュールの都合上勝浦地区を中心に訪問させていただきましたが、次回は中村地区、法木地区を訪問させていただく予定です。



今後も飛島地区の皆様との信頼関係をより強固なものとし、皆様のくらしの保障に万全を期すことができよう、「皆様に寄り添うJF共済」として全戸訪問を実施していきたいと考えています。

お忙しい中、訪問に快くご対応頂きました地区の皆様、ありがとうございました。

JF共水連 東北事業本部 山形支店 渡邊 圭

9月は 船員労働安全衛生月間です

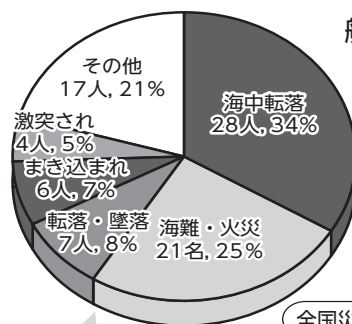
船員労働安全衛生月間は、船舶所有者及び船員の自主的な安全衛生活動の促進により、船内における安全で快適な作業環境と居住環境を実現し、船員の労働災害を防止するため、国土交通省、水産庁が主唱し、船員災害防止協会の協賛のもと、毎年、全国的に実施しているもので、今年で69回目となります。

耳で確認 目で確認 指差し呼称で更なる安全

今年度の重点事項

- | | |
|----------------------|------------------------|
| ①作業時を中心とした死傷災害防止対策 | ⑥新型コロナウイルス感染症等の感染症予防対策 |
| ②海中転落・海難による死亡災害防止対策 | ⑦ハラスメントの防止とメンタルヘルスの確保 |
| ③漁船における死傷災害防止対策 | ⑧ITを活用した健康管理等の推進 |
| ④船舶の設備等ハード面での安全対策の推進 | ⑨その他の健康管理上の取組 |
| ⑤船員の健康確保対策 | ⑩年齢構成を踏まえた死傷災害及び疾病対策 |
| | ⑪その他の安全衛生対策 |

皆さんの船舶でも、船内の安全衛生設備の点検を行うとともに、乗組員全員で安全衛生について話し合うなど災害、疾病の防止に積極的に取り組みましょう。



船員死亡発生状況
(2019～2023年度)

全国災害疾病発生状況報告より

5年間で死亡者総数83名。なかでも海中転落による死亡者数が28名33.7%にもおよびます。
漁労作業中は「墜落制止用器具または作業用救命衣の着用」、「荒天時の操業は控える」、「単独作業を行わない」などの安全対策を講じましょう。

東北運輸局山形運輸支局 (TEL 0234-22-0084)

うみぎょう 海業ってなに?

海業（うみぎょう）とは、海や漁村にある自然、資源、文化などの地域資源の価値や魅力を活用して、地域のにぎわいや所得、雇用を創出する取り組みや事業のことです。漁港を拠点として、水産物消費の拡大、観光客誘致、漁業体験の提供などを通じて、地域の水産業や漁村の活性化を目指すものです。

この庄内浜地域では由良地区で漁業体験や自然体験、食の体験を通して、由良の魅力を「観る」「知る」「体験」しよう！と発信しております。

当漁協でも、天然魚の水揚げだけに頼らない漁協経営を掲げており、この度、公益財団法人 海洋生物環境研究所特任参与の加悦幸二氏をお招きし「海業」の勉強会を開催しました。

加悦先生は水産庁を退官された方ですが、山形県の漁業とは繋がりが強く、これまでも漁業士会や洋上風力発電に関する講演をして頂きました。また、何よりも記憶に残るのは、飛島地区と温海・鼠ヶ関地区の延縄漁業と大中旋網漁業の共生を目的とした協定を国内でも早い時期に締結する事に尽力いただいたことです。

当日は本間組合長をはじめ、山形県・遊佐町・鶴岡市・酒田市の関係者や、酒田市内企業の役員など25名が出席しました。全国の優良事例の紹介に加え、庄内浜での事業の可能性や漁協経営への貢献、そして何より行政・組合・企業の連携なくしては実現できないことが強調されました。参加者は真剣な眼差しで講師のお話に耳を傾けていました。なお、今回の勉強会は事務方を対象としたものでしたが、今後は漁業者向けの勉強会も企画していきたい考えです。



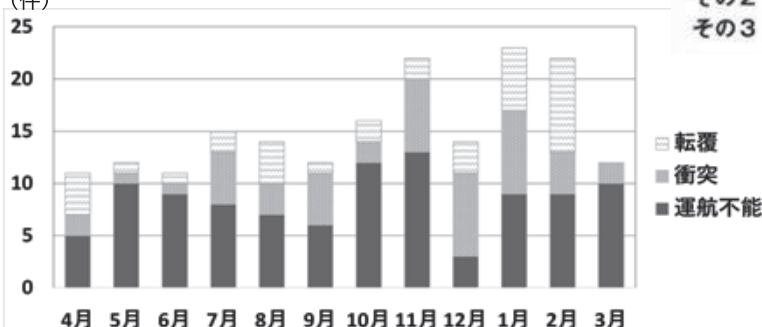
酒保の海だより

秋の海にご用心！漁船の安全チェック

例年、秋頃から漁船の事故が増加する傾向にあります。
発航前点検を確実にを行い、救命胴衣を着用して安全に操業しましょう。

漁船の事故統計(月別発生状況)

(件) 東北地方における過去5年間(2020年～2024年)の合計値



傾向として、機関故障や絡網による推進器障害となる「運航不能」が最も多く、次いで見張り不十分・操船不適切による「衝突」、「転覆」が発生しています。

自船の安全確保3か条

- その1 発航前、機関や燃料等の点検の実施
- その2 航行時、常時見張りの徹底
- その3 故障時に備え、救助支援者の確保

△ 発航前 … 機関や燃料等の点検の実施
発航前は、船体とエンジン周り、燃料の量、バッテリーの状態を点検するとともに、最新の気象・水路情報等入手しましょう！

△ 航行時 … 常時見張りの徹底
航行時は、他の船舶の動向や浅瀬・定置網など周囲の水域の状況を継続して把握する必要があることから、常時適切な見張りを実施しましょう！

△ 故障時に備え … 救助支援者の確保
事故で最も多いのが機関故障！発航する際は、万が一の機関故障の発生に備え、仲間の船やマリナー等の救助艇による救助体制をあらかじめ確保しておきましょう！また、併せて入航時刻等を家族やマリナー等へ連絡しておきましょう！
※ 海上オートパイは民間救助組織の対象外の場合がありますので注意しましょう。



2025

10/1 ▶ 31

全国漁船安全操業推進月間

～安全操業・安全運航の推進～

酒田海上保安部

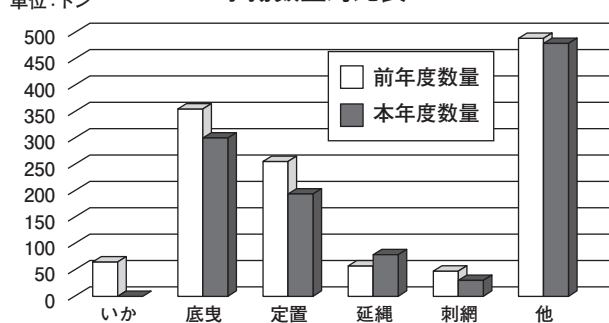
漁業種類別前年度水揚げ対比表

令和7年8月31日現在

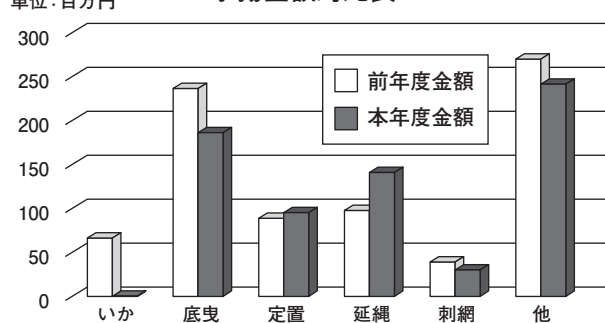
(単位: kg, 千円)

	8月数量	本年度数量	前年度数量	数量増減	8月金額	本年度金額	前年度金額	金額増減
1 底曳網漁業	0	298,809	355,558	▲56,749	0	186,421	236,521	▲50,100
2 刺網漁業	3,270	28,386	46,266	▲17,880	5,248	29,536	39,760	▲10,224
3 いか一本釣漁業	0	559	60,773	▲60,214	0	534	63,596	▲63,062
4 船凍いか釣漁業	0	0	1,888	▲1,888	0	0	1,910	▲1,910
5 はえなわ漁業	3,613	77,136	56,363	20,773	9,440	141,610	99,140	42,470
6 ごち網漁業	24,858	60,015	44,741	15,274	19,427	41,721	32,850	8,871
7 定置網漁業	415	192,185	254,668	▲62,483	802	96,031	88,974	7,057
8 採貝藻漁業	12,914	69,815	82,543	▲12,728	10,412	63,328	75,975	▲12,647
9 その他の漁業	67,766	349,082	360,623	▲11,541	36,656	130,162	148,849	▲18,687
10 張網漁業	0	2,058	1,548	510	0	1,196	767	429
11 遊漁、直売、県外	0	0	0	0	1,618	5,623	11,883	▲6,260
合計	112,836	1,078,045	1,264,971	▲186,926	83,603	696,162	800,225	▲104,063

単位: トン 水揚げ数量対比表



単位: 百万円 水揚げ金額対比表



水揚情報

令和7年8月31日現在

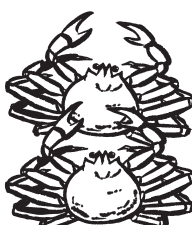
(単位：千円)

支所別 区 分		水揚合計	水 揚 地 内 訳							
			吹 浦	飛 島	酒 田	加 茂	由 良	豊 浦	温 海	念珠関
7 月末迄水揚累計		608,555	19,990	25,430	109,740	62,325	113,757	86,417	24,613	166,283
月 間 水 揚	県内船水揚	81,987	7,991	3,622	22,528	12,498	9,599	7,067	2,063	16,619
	県外船水揚	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合 計	81,987	7,991	3,622	22,528	12,498	9,599	7,067	2,063	16,619
前 年 同 月 水 揚		125,552	12,183	7,667	37,014	12,221	15,059	10,362	3,317	27,729
本 年 度 水 揚	県内船水揚	689,729	27,981	29,052	131,887	74,823	123,356	93,484	26,676	182,470
	県外船水揚	812	0	0	380	0	0	0	0	432
	合 計	690,541	27,981	29,052	132,267	74,823	123,356	93,484	26,676	182,902
前年度水揚累計		788,342	50,749	27,063	180,661	68,911	131,050	85,007	22,504	222,397
増 減		-97,801	-22,768	1,989	-48,394	5,912	-7,694	8,477	4,172	-39,495
本年度水揚計画		1,888,000	92,000	61,000	582,000	123,000	284,000	183,000	32,000	531,000
達 成 率		36.5%	30.4%	47.6%	22.7%	60.8%	43.4%	51.0%	83.3%	34.4%

今あがっている魚

－ 8月のベストテン －

前年対比 増 ↗ 減 ↘ 変らず →

水 揚 金 額 (千円)				漁 獲 量 (kg)			
1	か き 貝	20,276		1	べ に ず わ い	45,060	
2	た い	17,147		2	た い	21,937	
3	さ ざ え	6,351		3	か き 貝	14,544	
4	べ に ず わ い	6,308		4	さ ざ え	8,539	
5	あ ま だ い	4,144		5	つ ば い	2,125	
6	つ ば い	3,381		6	あ ま だ い	1,857	
7	あ じ	1,033		7	ぶ り ・ い な だ	1,424	
8	め ば る 類	848		8	あ じ	1,201	
9	に し ば い	737		9	め ば る 類	495	
10	お お ば い	597		10	さ ば	469	
			月間MVP				月間MVP

○連日、サンマが豊漁だと報道をにぎわしています。そして、おなじく大不漁だったスルメイカも豊漁の様子で、以前からひそかにサンマとスルメイカは連動しているんじゃないかと思っていたのが、中しななとほくそ笑む私でした。(同じ回遊魚だから……)しかし北海道の太平洋側や青森県では豊漁のスルメイカ、なぜか当県はまだ気がありません。

しかし、9月の底曳網漁の解禁日には、はじめてスルメイカが獲れたという船もあり、他県から回遊してきたスルメイカが時期を遅らせ山形県沖で大漁！となる未来に期待して心待ちにしているところです。

○当組合は、現在4年連続経常利益を確保することが出来ず厳しい状況が続いており、2名の担当部長が中心となって立て直しのため動き始めています。今春には、「変革と創造、屹立する勇氣」とスローガンが掲げられ、職員一人一人がそれに掲げた個人目標、組織目標に向け、頑張っているところです。そんな中、私が掲げた目標の一つが、「イガイ」の販路拡大でした。山形県水産研究所の調査により、「イガイ」は資源が豊富である一方、寿命を迎える直前のものが多く群生していることが分かりました。そこでこの夏、「イガイ」をより多くの人に知っていただき、味わっていただけるようキャンペーンを実施することとなりました。

一人では何もできませんが、さまざまな立場の方のお話や現場から学ぶことで、問題点だけでなく打開策も見えてきました。人の声を聞き、思いを伝えることの大切さを改めて実感した夏でもありました。

庄内浜には「イガイ」だけでなくおいしい魚介類、海藻が豊富にあります。未利用魚と呼ばれるものの中にもおいしい魚がたくさんあります。スーパーや飲食店等で食べたことがない庄内産の魚介類を見かけたらぜひ食べてみてほしいです。本当に、庄内浜は宝の山です。

○最後に、「すいさん山形」の在り方について、見直す時期に来ているのかもしれない。これまで編集後記の締めくくりでは皆様と情報や話題を共有し、愛される広報誌づくりを心掛けていた。とお伝えしてきましたが、果たして読者の皆様にとって本当に必要な情報や、楽しんでいただける記事をお届けできていたのでしょうか。

もしお気づきの点やご感想があれば、ぜひ率直にお聞かせいただければ幸いです。各支所や本所にお立ち寄りの際には、どうぞ気軽に職員へお声がけください。

大漁

第八十六若潮丸入港!

大不漁が続いていた中型いか釣り船ですが、第八十六若潮丸が先陣を切り、船凍いか約1万5千ケースを船に乗せ、9月8日酒田港に入港しました。久々の大漁に港は活気づき、漁協職員や市の関係者等が力を合わせ、皆でIQやブロックと呼ばれる船凍いかのケースをどんどん積み上げていきました。

9月22日には第二十三輪島丸が約1万ケースを酒田港にて水揚げを行いました。

現在スルメイカTACの上限が危ぶまれておりますが、このまま大漁に終漁していただけることを心より祈念しております。



まってるよ!!

念珠関総括支所・本所窓口で 冷凍加工品販売始めました!

念珠関総括支所にて先行販売していた冷凍加工品ですが好評を受け、本所窓口でも販売を開始しました。由良水産加工場の人気商品「いかの塩辛」をはじめ、たらこやすじこ、鮭フィレなど贈答にも喜ばれるラインナップとなっております。来組した際にはぜひお買い求め下さい!お待ちしております!



何でも魚^{うお}ツチング



庄内浜の厄介者 ワニエソ

漁業者の方から、ここ5~6年でワニエソがよく獲れるようになったという話をよく聞きます。様々な漁法の漁師さんたちから「厄介な魚」と口をそろえて言われるこの魚。せっかくアカムツが縄にかかったのに、ワニエソに丸のみされてしまい一銭にもならなかったという残念なエピソードも聞きました。

庄内浜ではワニエソにほとんど値段がつかないのが現状です。これは、食べる文化が無かったことや、小骨が多く食べにくいことが理由です。しかし西日本では高級かまぼこの原料として重宝されている魚でもあります。

「価値がほとんどない」という現実が悔しく、水産研究所では山形のラーメン文化と組み合わせた活用法を模索しました。焼干しと蒸干しを開発したところ、ワニエソから上品で甘みのあるだしがとれることがわかりました。

10月19日からは庄内地域のラーメン店を中心に「ワニエソラーメンキャンペーン」を実施しますので、いままで「厄介者」とされてきたワニエソだしのおいしさを味わってみてください!ラーメンをきっかけに、価値ある資源として活用が広がれば嬉しいです。



網に突き刺さるギザギザの歯、なんでも丸のみにする大きな口

水産研究所 資源利用部 研究員 五十嵐 悠